

②アダム

聖徒たちと歩む聖書  
アダム その2

創世記3:1~24

「最初の罪」

～失楽園・アダム契約～

## 【今日のアウトライン】

- 0. ふりかえり
- I. 罪
- II. 神との断絶
- III. 罪の結果と救いの約束
- IV. まとめと適用  
アダム契約の恵みを味わう



## 【最初の天地の創造】 創世記1:1～2

- はじめに、神が天地を創造された。
- 最初の被造物サタンが墮落し、裁かれ、最初の天地である宇宙は、混沌と化した。
- 暗闇の世界を、聖霊が抱き、地上を再創造していく。  
→それが、6日間の天地創造。



世界の破壊は、  
二段階で起つた！

天地創造

創世記1章1節

## 地の再創造(エデン)

# 創世記1章3~2章3節

# サタンの 堕落

# 人類の 墮落

キリストの十字架

A large, solid red cross is centered in the frame, overlaid on a photograph of a sky filled with soft, orange and yellow clouds. The cross's vertical bar is positioned on the right side, and its horizontal bar spans most of the width of the image.

# 現在(教会時代)

# 千年王国(エデン)の回復

# キリストによる ←最後の裁き

# 最後のアダム キリストの ← 再臨

默示錄 21 章 22

## 天地創造の6日間

1日目	光あれ!! ...神の栄光(シャカイナグローリー)が出現!!
2日目	空と海の出現 ...水が天と地に分けられた。
3日目	陸地の出現、植物の創造
4日目	太陽と月、星々の創造 ...物理的光源の創造
5日目	海と空の生き物の創造 ...魚や鳥の創造
6日目	地上の生き物の創造 ...けものや昆虫、地上の動物 人間の創造 ...“神のかたち”に似せて

7日目を、神は聖とされ、安息された。

## 【祝福の契約・エデン契約】

■「産めよ、増えよ、地に満ちよ」

神の契約は、本来、恵みに満ちた祝福。

■人はただ、神の恵みを味わうために、

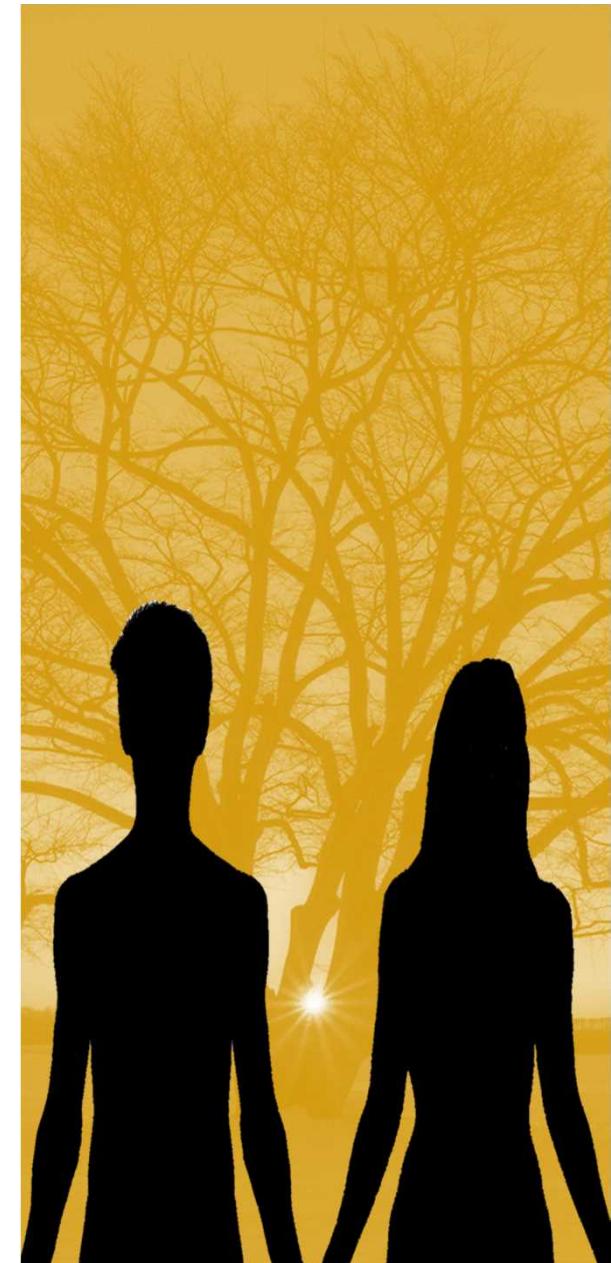
神を愛し、互いに愛し合うために造られた。

完全な愛の関係を持つ、神に似せて。

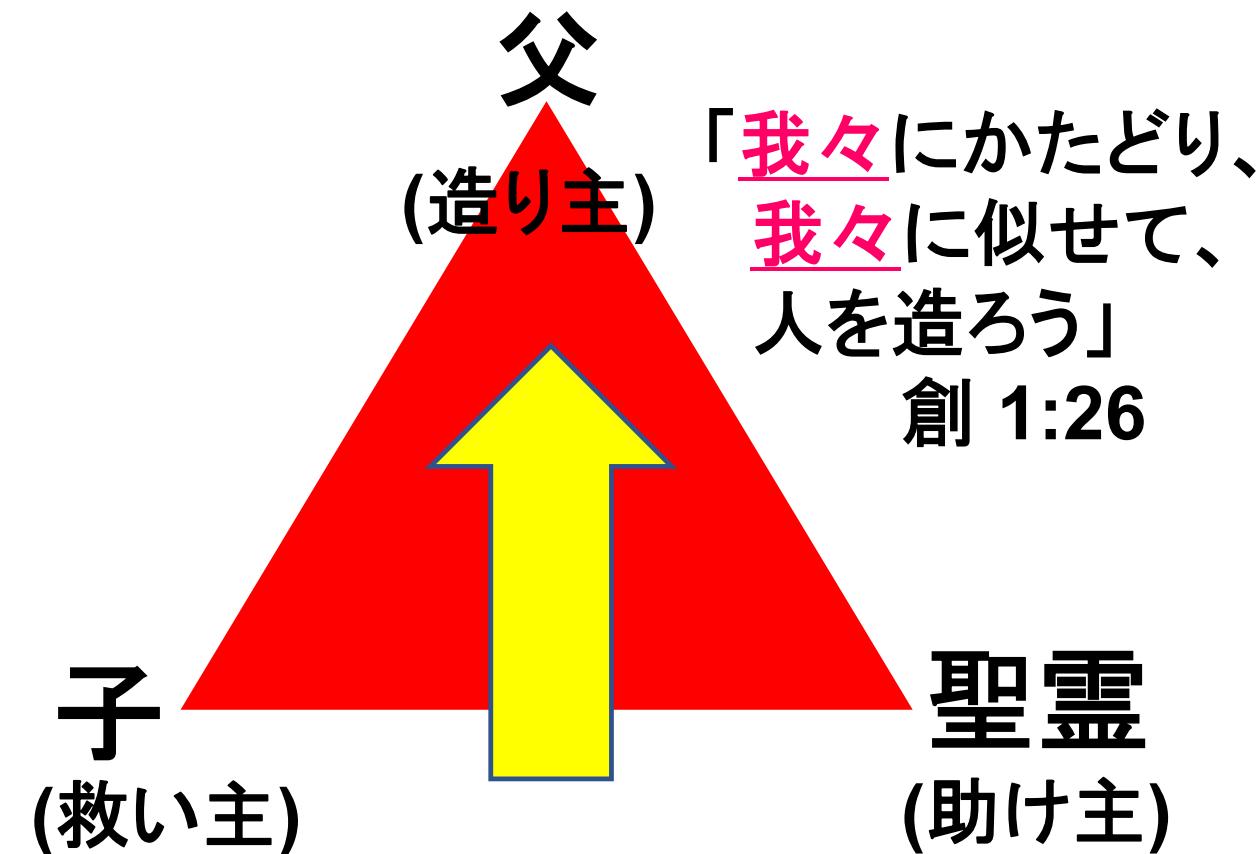
■愛は、自由のないところには生まれない。

本当に、愛する者となるために、

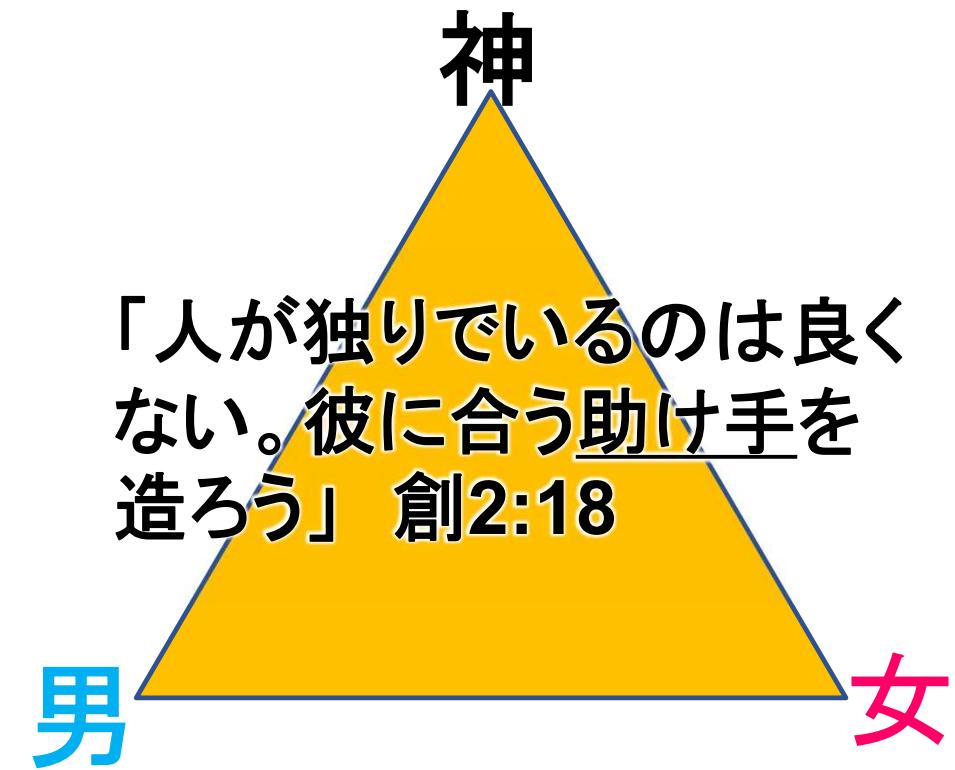
人には、選択の自由が与えられた。



## 【神が男と女を作られた理由】



完全な関係(三位一体の神)



完全な関係の写し

## 最初の契約 ①「エデン契約」

**対象:**最初の人アダム(人類代表として)

**内容:**地の祝福。人類の祝福。

人類の地の統治権。

**※唯一の禁止命令:**

...善悪の知識の木の実は食べるな。

**目的:**統治権をめぐる人類へのテスト。

一定期間、守れば合格!!

**結果:**きよさが確定され、永遠に楽園で

生きたはず、だった！



I. 罪

創世記3:1~7



【サタンの誘惑】 創世記 3:1

さて、神である【主】が造られたあらゆる  
野の獸のうちで、蛇が一番狡猾であった。

※さて ...6日間の創造と7日目の安息後。  
ある程度の年月が過ぎた時。

※狡猾 ...アルーム。賢い。分別がある。

■蛇を通して、サタンが語りかけた。  
今の蛇とは、全く別物。美しく賢かった。



## 【サタンの誘惑】 創世記 3:1

蛇は女に言った。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」

※不自由を感じさせ、疑いを抱かせる  
巧妙な問い合わせ。コーチングの悪用の見本。

## 【巧妙なすりかえ】

■神 「この木だけは、食べてはならない」



■サタン 「どんな木からも、食べるな？」



## 【女の答え】 創3:2~3

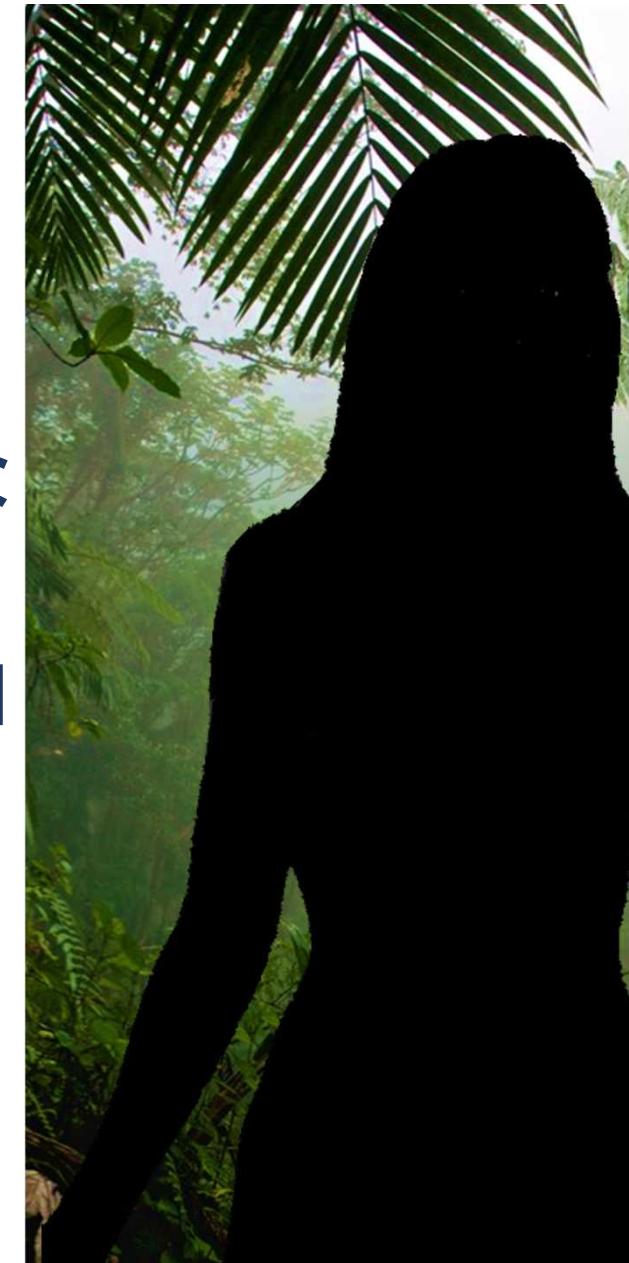
女は蛇に言った。「私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。

しかし、園の中央にある木の実について、神は、『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ』と仰せになりました。」

※触れてもいけない …議論になる箇所

聖書には神の言葉として記されていない!!

⇒神は、本当に、そう命じたのか？



## 【法と罪の関係から考える】

■法が罪を定める。

人に期待されたのは、神の法に従うこと。

Q:男と女が、従うべきだった神の法は？

⇒「善悪の知識の木から食べるな」

※これを破ったときにはじめて、罪となる。

Q:もし、法がなかったら？

全てに、無制限に責任が問われる!! ⇒無理!!

■法は、責任の範囲を限定するものもある。

神は、人の責任を明確にし、守れるものにした。

☆だから、**神の法は恵み**



## 【法における、罪未満のことを考える①】

■法が罪を定める。

法が明確に定めたことを破ったとき、  
⇒はじめて、それが、罪になる。

※「触れてはいけない」という女の説明は？

...ウソではない。法を犯してもいい。  
悪意もない。

⇒しかし、不正確。

■人は、不正確。 ...例)伝言ゲーム

不正確さが、時に罪の入り口になる。

⇒神の約束を、正確に理解することの大切さ。



## 【法における、罪未満のことを考える②】

■人は、不正確。

…例)伝言ゲーム。

不正確さが、時に罪の入り口になる。

⇒神の約束を、正確に理解することの大切さ。

■法には、必ず、**グレーゾーン**がある。

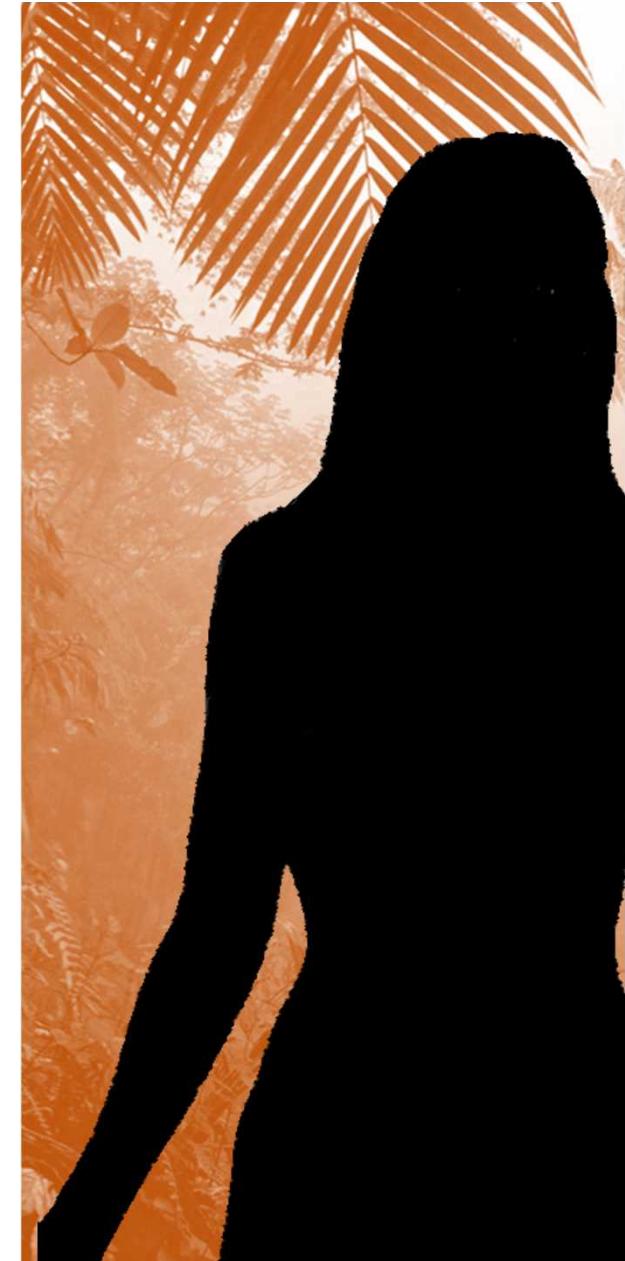
…自分で、考え、判断すべき領域。

※法の意図を正しく理解した上で、

グレーゾーンでどう立ち振る舞うかが、重要。

※グレーゾーンを法で埋め尽くそうとすると、

今度は、律法主義に陥ってしまう!!



## 【サタンの嘘】 創3:4~5

そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになります、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

※真実に嘘を交ぜる ⇒嘘つきの常套手段。

    真実に織り交ぜられた、サタンの明確な嘘。

■不正確さが、サタンにつけいる隙を与える。

    ⇒神の契約を正しく理解することの大切さ。



## 【誘惑に捕らえられて】 創3:6

そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

### ■ 罪に陥る課程

- ①神への小さな疑念 ②悪魔のささやき
  - ③湧き上がる欲望 ④自己正当化
- ⇒そして、罪の実行へ!!



## 【罪に落ちた男と女】 創3:7

このようにして、ふたりの目は開かれ、それで彼らは自分たちが裸であることを知った。そこで、彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作った。

※裸が恥ずかしい。 ⇒隠すべき罪があるから

■法を犯すとは、法の守りから外れること。

神の法を犯したとき、

神の守りからも踏み出してしまった。

※葉で覆う ⇒守るものが何もない状態。



A photograph of a dense jungle with tall trees and sunlight filtering through the canopy. Superimposed on the center of the image are two black silhouettes of a man and a woman standing side-by-side, facing away from the viewer.

## II. 神との断絶 創世記2:8～13

## 【神との断絶】 創3:8

そよ風の吹くころ、彼らは園を歩き回られる  
神である【主】の声を聞いた。それで人とその妻は、神である【主】の御顔を避けて園の木の間に身を隠した。

※そよ風の吹くころ ...一日の終わり。夕刻。

※歩き回られる主の声

...シャカイナグローリー、神の栄光の顯現。

※御顔を避けて ...神との断絶。靈的死。

⇒再び御顔を仰ぎ見る。救いの結果。



## 【神の呼びかけ】 創3:9～10

神である【主】は、人に呼びかけ、彼に仰せられた。「あなたは、どこにいるのか。」彼は答えた。「私は園で、あなたの声を聞きました。それで私は裸なので、恐れて、隠れました。」

※人の状況を問い合わせ、認罪を求める神

※彼は答えた ...久々の?! 男の肉声。

返答の義務は、男にある!!

契約を直接結んだ当事者としての責務。

■ 罪の結果の現状を、赤裸々に話す男。

しかし、悔い改めにはいたっていない。



【神の問いかけ】 創3:11

すると、仰せになった。「あなたが裸であるのを、だれがあなたに教えたのか。あなたは、食べてはならない、と命じておいた木から食べたのか。」

※誰が教えたのか

...罪の原因を問う神。

※食べたのか

...罪の告白を具体的に求める神。



## 【責任転嫁】 創3:12~13

人は言った。「あなたが私のそばに置かれたこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです。」

そこで、神である【主】は女に仰せられた。「あなたは、いったいなんということをしたのか。」女は答えた。「蛇が私を惑わしたのです。それで私は食べたのです。」

※男は女に、女は蛇に、責任転嫁した。

**Q:最も責任が重いのは？**

⇒直接、神と契約を結んだ、**男**





III. 罪の結果と救いの約束

創世記3:14～24

## 【蛇への宣告】 創3:14

神である【主】は蛇に仰せられた。「おまえが、こんな事をしたので、おまえは、あらゆる家畜、あらゆる野の獣よりもろわれる。おまえは、一生、腹ばいで歩き、ちりを食べなければならぬ。

※腹ばいで歩き、ちりを食べる。

…慣用句。例)辛酸を舐める。

⇒人の罪により呪われた地を這いずり回る。

■最も美しく賢い生き物から、  
最も呪われた、醜い生き物とされたということ。

⇒罰の大きさは、与えられた恵みに比例する



## 【サタンの宣告】 創3:15

わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」

原福音

■蛇の背後にいるサタンへの宣言。

※ おまえの子孫 VS 女の子孫

(反キリスト) (乙女から生まれるメシア)

※頭を踏み碎き、彼のかかとにかみつく。

メシアは、命と引き換えに悪魔に勝利する。



## 【サタンとは？】

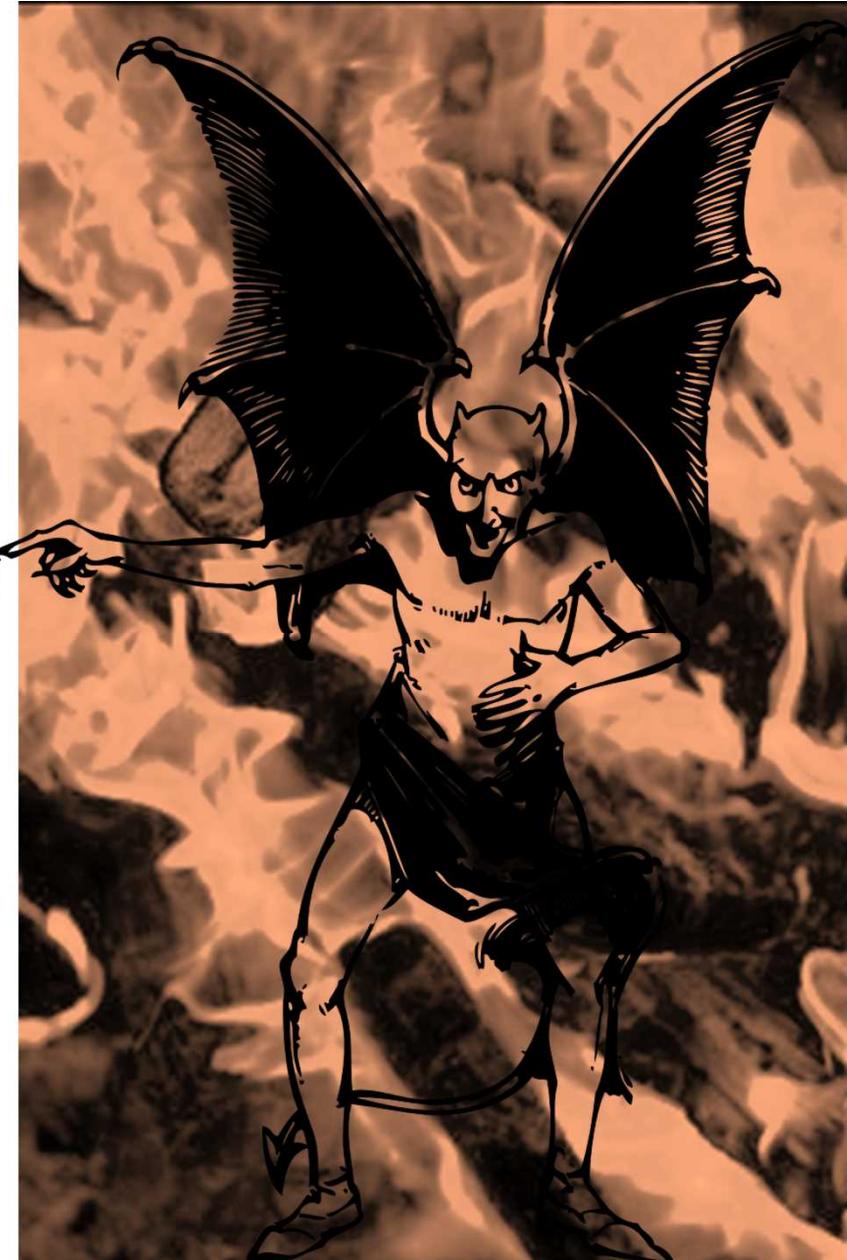
- ・最初に神が造られた天使の中で最高の存在、大天使だった。
- ・神のようになろうとして反逆。3分の1の天使を連れて墮落した。

(エゼキエル28章, 默示録12章他)

- ・創造者である神にはかなないので、神の最も大切な人間の破壊を企てる。

■地に墜ちた大天使 → サタン(悪魔)

■その他の墜天使 → 悪霊



## 【女への宣告】 創3:16

女にはこう仰せられた。「わたしは、あなたのうめきと苦しみを大いに増す。あなたは、苦しんで子を産まなければならぬ。しかも、あなたは夫を恋い慕うが、彼は、あなたを支配することになる。」

※うめきと苦しみ ...月経、出産に伴う苦痛。

※恋い慕う ...タシュカー。一種の支配欲をも。

「罪はあなたを恋い慕っている(創4:7)」

⇒女は男をコントロールしようし、

男は、女を直接的に支配する。



## 【男への宣告①】 創 3:17~18

また、人に仰せられた。「あなたが、妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なけばならない。土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あなたは、野の草を食べなければならない。

### ■男の責任の重さ

⇒地の管理者、契約の当事者だったがゆえ  
大地まで呪われ、労働に苦痛が伴うように



## 【男への宣告②】 創 3:19

あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、  
あなたは土に帰る。あなたはそこから取られ  
たのだから。あなたはちりだから、ちりに帰ら  
なければならぬ。」

※土に帰る ...肉体的死。

⇒罪により、人は、神と断絶した。

神との断絶 = 死。

■人は、罪を犯した瞬間、靈的に死に、  
肉体的にも、死を免れなくなつた。



## 【残された希望】 創3:20

さて、人は、その妻の名をエバと呼んだ。それは、彼女がすべて生きているものの母であったからである。

※エバ …ハヴァー。命。

⇒神の権威を託された、アダムによる命名。

※すべて生きているものの母

…アダムは、3章15節の約束を信じた。

⇒すべての命を罪の呪いから解放する、

救い主が、女の子孫としてやってくる!!



【贖いの教え】 創3:21

神である【主】は、アダムとその妻のために、  
皮の衣を作り、彼らに着せてくださった。

※動物を屠り、その衣を着せたということ。

⇒動物の血の犠牲により、人は罪を覆われ、  
かろうじて、神とのつながりを保たれた。

例)折り取られた枝の延命措置。

■あくまで一時的なもの。真実の贖いが必要



## 【蛇への宣告】 創3:22

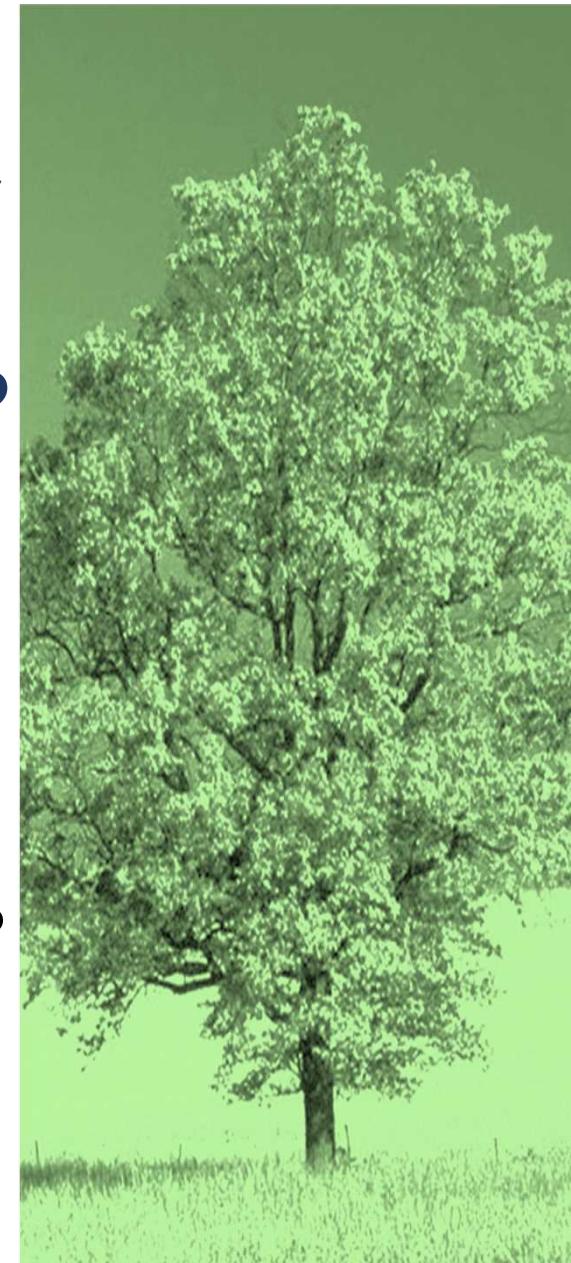
神である【主】は仰せられた。「見よ。人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るようになった。今、彼が、手を伸ばし、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きないように。」

### ※善悪を知るようになった

…人が自分で善悪を判断することが  
罪のはじまり。

### ※いのちの木 …永遠の命をもたらすもの。

再び人が口にするのは、新天新地。(黙22:2)



## 【蛇への宣告】 創3:23～24

そこで神である【主】は、人をエデンの園から追い出されたので、人は自分がそこから取り出された土を耕すようになった。こうして、神は人を追放して、いのちの木への道を守るために、エデンの園の東に、ケルビムと輪を描いて回る炎の剣を置かれた。

※罪のまま永遠に生きる悲惨から人を守る。

※ケルビム …神に仕える最上位の天使。

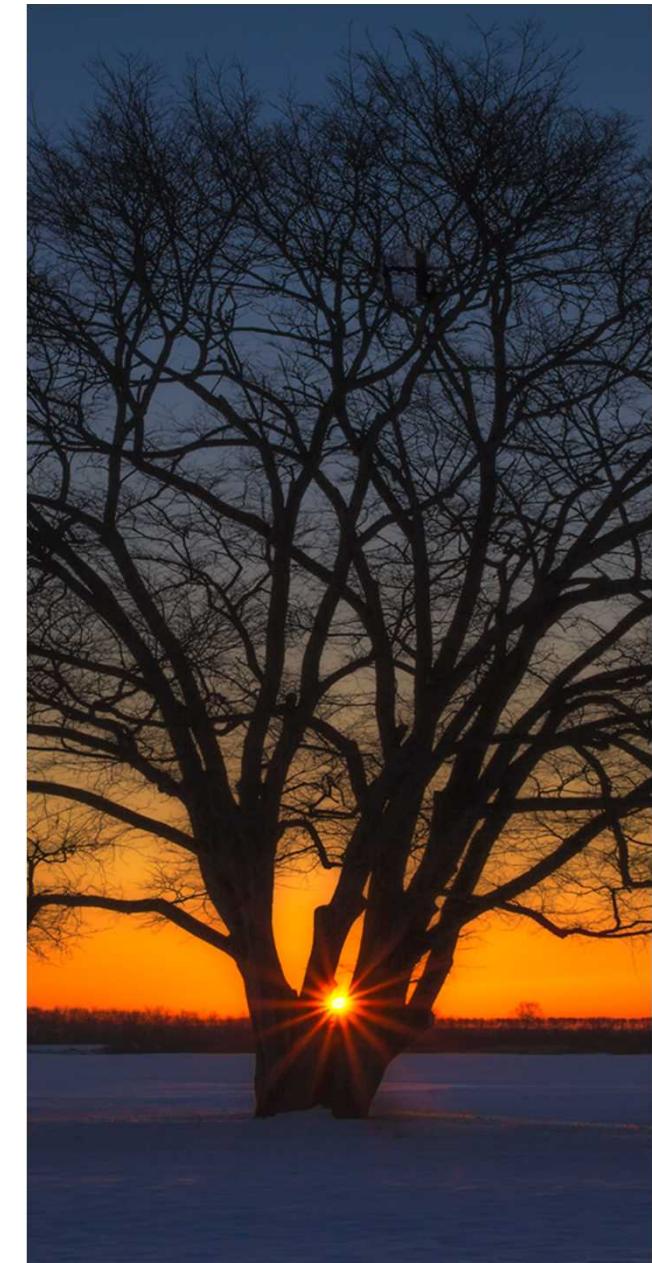


【エデン園に置かれた人】 創世記2:8~9  
神である【主】は東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。神である【主】は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木を生えさせた。

※置かれた ⇒ 完全に整えられた環境に。

※いのちの木 ⇒ アダムは食べてた？

新天新地には自生(黙示録22:2)



The background of the slide features a silhouette of two people standing in a field. The person on the left is a man, and the person on the right is a woman. They are positioned in front of a vast green field that stretches to a horizon with a large, leafy tree. Above them is a sky filled with dynamic, colorful clouds ranging from deep blues to bright yellows and whites.

## IV. まとめと適用

アダム契約の恵みを味わう

## 【エデン契約が破られた結果!!】

- \* 神との親密な関係が断絶された!!  
...「死」とは、神との断絶。  
靈的に死に、肉体的にも死ぬようになった。
- \* 裸に恥を感じるようになった。  
...罪を抱えた人間は、  
聖(きよ)い神の前に出られなくなった。
- \* 人間の持っていた地上の支配権、管理権は、  
悪魔(サタン)が奪い取った。



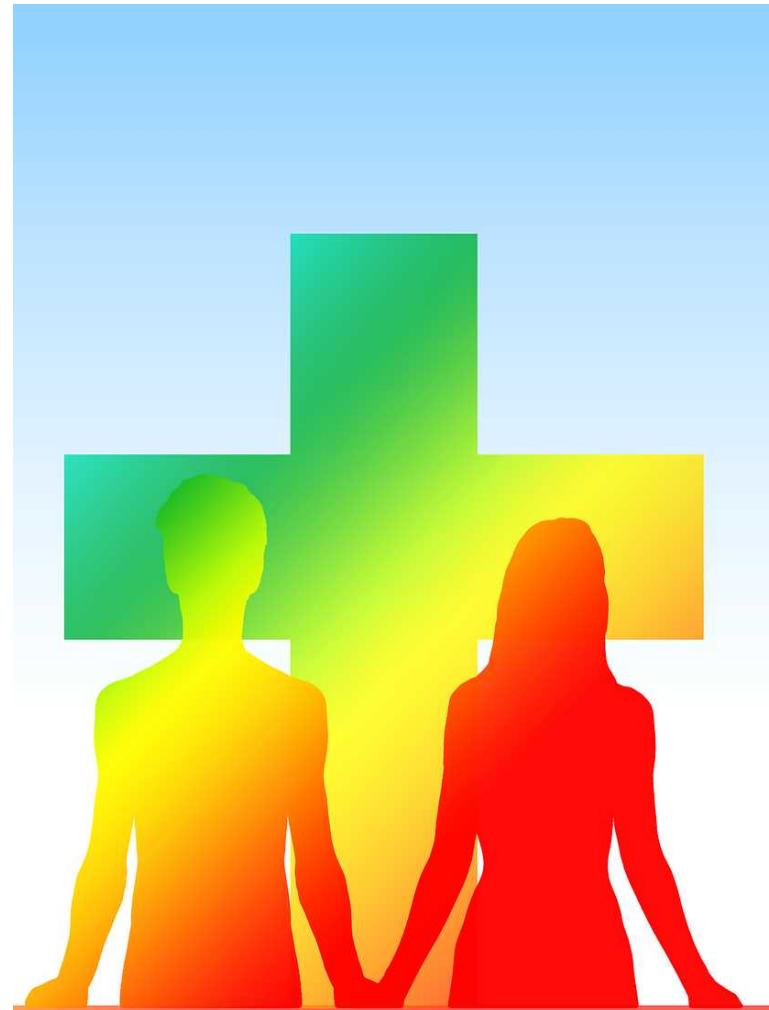
# 【アダム契約とは？】

エデン契約を破った人間に、

神が、

①罪の結果を教え、

②罪からの救いの道を示したもの。



## 【アダム契約とは？】

**対象:**アダム・人類全体

**内容:**罪の結果の呪い。楽園からの追放。

男は労働、女は出産の苦しみ。

靈的死&肉体的死

**救いの啓示:**

女の子孫として生まれるメシア

**救いの原則:**

血は血によってのみ贖われる。



【アダム契約における将来の希望】 創3:20～21

★アダムは、妻に、「エバ(命)」と名付けた。

\* 女の子孫から、メシア(救い主)が誕生するから!!

★神は、動物を犠牲にして皮の衣を着せた。

\* 罪をあがなうには、犠牲が必要だと教えた。

\* 人間は、動物の犠牲によって、一時的に、  
かろうじて神とのつながりを保たれた。

※完全に人の罪をあがなうのが、**メシア(キリスト)**。

100%人だから、犠牲になって死ぬことができる。

100%神なので、罪がなく、罪をゆるすことができる。



## 【なぜ、アダムとエバは、罪を犯したのか？】

- エホバの証人は、アダムとエバは、救われていないと言う。  
完全だったのに、罪を犯したからだと。  
自分なら、約束を守ったという人も!!
  
- アダムとエバは、神によしとされて造られた。無垢だったが、  
神のような完全さは、持ち合わせていなかった。  
不正確さを、サタンにつけ込まれ、罪を犯した。
  
- 最初に造られたアダムとエバすら約束を守れなかつた。  
人類は、誰も、守り通せなかつたということ。

【なぜ、たった一つの禁止事項を守れなかつたのか？】

- むしろ、たった一つだから、守れなかつた。
- たくさんある約束の内の一つを破るのも、  
たつた一つの約束を破るのも、 約束を破つた点では同じ。
- 人は、約束を守り通すことができない。
- たくさんある約束を守りきれない者に、  
たつた一つの約束を守り通すことなど、決してできない。

## 【あらかじめ用意されていた、神の救いの契約】

■人が罪を犯した直後に、救いの約束が示された。

それが、【原福音】 創世記3:15

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」

## 【あらかじめ用意されていた、神の救いの計画】

### ■エペソ人への手紙1:3~6

「神はキリストにあって、天にあるすべての靈的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。

1:4 すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

1:5 神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

1:6 それは、神がその愛する方にあって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

## 【神の救いの計画の目的】

- 「エペソ1:6 それは、神がその愛する方にあって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。」
- 罪人が、再び神に立ち返り、神をほめたたえる時が来る。
- わたしのあなたの救いも、神が計画されていたこと。  
神の計画の内にあって、わたしも、あなたも救われた。
- この神の救いの計画を、さらに知り、確信を深めていこう。  
家族に、知人に、人々に、さらなる救いをもたらしてください  
契約の主を信頼して!!

「天のお父さま。  
わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、  
①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、  
②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、  
③三日目に復活(ふっかつ)したこと、を信(しん)じます。  
わたしは、主のご計画(けいかく)のうちにすぐわれました。  
さらなる救(すく)いを もたらしてくださいる 主を信頼(しんらい)  
します。あなたの約束(やくそく)をもって ここから わたしを  
つかわしてください。  
主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン！